

イスラム教徒もOK

【四日市】老舗ゴマ総合メーカー「九鬼産業」（四日市市尾上町）が、イスラム教の戒律に従って製造したことを示す「ハラール認証」を国内のゴマ業界で初めて取得した。イスラム圏での販路拡大が狙いで、担当者は「ゴマの文化が世界に広がれば」と期待している。

（廣瀬秀平）

九鬼産業のゴマ製品 ハラール認証を取得



ハラール認証の証明書と認証されたゴマ油の製品を手にする九鬼産業の従業員。四日市市尾上町で。

認証されたのは、原料がゴマ百パーセントのゴマ油やいりゴマ、すりゴマ、ねりゴマなど約百五十種類。宗団法人「日本ムスリム協会」（東京）から今年三月九日付で証明書を受けた。同社は、平成三十二年の東京五輪などを控え、増加が見込まれる訪日イスラム教徒に安心して食べてもらえるよう、ハラール認証の取得を決定。昨年春ごろから、製造工程のチェックなどをして申請の準備を進めてきた。

今後は、東南アジアを中心に拡販を図り、日本国内

のホテルや飲食店向けの営業も強化する。ふりかけやラー油など加工品での取得も目指すという。

同社開発部の担当者は「先陣を切って業界を引っ張っていきたい。明治時代からの伝統の味を楽しんでもらい、ゴマの文化が世界中に広がるきっかけになってほしい」と話した。

ハラール認証は、イスラム教が禁止している豚肉やアルコールなどを含まない製品を認める制度。食品のほか、化粧品や医薬品などにも与えられる。